

(参考)

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構とつくば市との相互協力の促進に関する基本協定について

つくば市企画部科学技術振興課

■ 概 要 ■

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構とつくば市は、農業・食品産業技術総合研究機構の専門的知見及び研究開発成果とつくば市の施策との融合を図るとともに、市民の安全・安心を確保することにより、市民の良好な生活環境が確保された地域社会の持続的な発展を目指して、基本協定を締結する。

本協定の下、農業・食品産業技術総合研究機構とつくば市は、①互いの情報、資源及び研究成果等の活用、②市民の安全・安心に係る情報の共有、③災害防止及び環境保全、④学術研究・科学技術及び農業・食品産業の振興、⑤学校教育及び社会教育の増進、⑥つくば市内の大学及び研究機関等との連携を促進する。

■ 経 緯 ■

農業・食品産業技術総合研究機構が研究・開発したパン用小麦「ユメシホウ」により製造されたパンをつくば市が市内の学校給食に提供しているほか、「パンの街つくば推進協議会」に加盟する市内のパン店で市販に供されている。また、市内の小学校で、年1回同機構作物研究所の職員から、「ユメシホウ」について講話をいただいている。

そのほか、つくば市科学技術振興指針策定懇話会、つくば市環境都市委員会、つくば市節電会議、東日本大震災研究機関連絡会に参加していただくなど、つくば市の行政面でも様々な専門的助言や地域の連携の面で貢献をいただいた。

また、昨年度、市庁舎をはじめとして、市内各所の緑のカーテンの作成に当たっては技術指導をいただいた。

今後は、多様な分野での連携協力体制をより強化し、新事業、新産業の創出や、市民の安全・安心な生活環境の構築に向けた取組を促進するため、互いに基本的な協定を締結することが重要であるとの認識で一致した。

これらを踏まえて、このたびの基本協定の締結に至ったものである。

■ 協定の内容 ■

(1) 目的

農業・食品産業技術総合研究機構の専門的知見及び研究開発成果とつくば市の施策との融合を図るとともに、市民の安全・安心を確保することにより、市民の良好な生活環境が確保された地域社会の持続的な発展に資する。

(2) 推進事項

- 1 互いの情報、資源及び研究成果等の活用
- 2 市民の安全・安心に係る情報の共有
- 3 災害防止及び環境保全
- 4 学術研究・科学技術及び農業・食品産業の振興
- 5 学校教育及び社会教育の増進
- 6 つくば市内の大学及び研究機関等との連携
- 7 これらの目的の達成のために必要な事項

(3) 個別協定

連携・協力の円滑な推進のために必要な事項について、個別協定等を別途締結。

(4) 期間

平成24年4月19日から平成25年3月31日までとし、以降、自動的に延長する。

■ 協定調印式 ■

日時：平成24年4月19日（木）午前11時から午前11時30分まで

場所：つくば市役所5階庁議室

出席者：

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構：

ほりえたけし 堀江武 理事長， さとうひろし 佐藤洋 理事， おぜきひでき 尾関秀樹 総合企画調整部長，
はやしてつじ 林哲司 連携普及部長， よこたとしやす 横田敏恭 研究管理役
たかはしせいや 高橋清也 企画調整室長

つくば市：いちばらけんいち 市原健一 市長， おかだひさし 岡田久司 副市長， ほそだいちろう 細田市郎 副市長，
かわはらゆうと 河原雄 副理事， いしつかとしゆき 石塚敏之 企画部長

うめはらこうじ
梅原弘史主幹（兼）科学技術振興監（兼）国際戦略総合特
区推進室長，^{うつのたかお}
宇津野卓夫企画部次長

■今後の予定■

- ・地域の農業関連事業への専門的知見の提供や，新事業，新産業の創出に向けた連携の検討。
- ・つくば環境スタイルなど市民が中心となる活動への協力。
- ・市教育委員会が進める学校教育での連携（つくばスタイル科，市内小中学校の授業やつくば市総合教育研究所の講座への講師派遣等）の検討。
- ・つくばサイエンス・インフォメーションセンター主催の市民を対象とした講座等への講師派遣の検討。
- ・その他，防災や食の安全の確保，科学技術振興等をはじめとするつくば市全体の更なる発展につながる事業展開について検討。

■問合せ先■

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
本部 総合企画調整部企画調整室

〒305-8518

茨城県つくば市観音台3丁目1番地1

電話：029-838-7699

つくば市 企画部科学技術振興課

〒305-8555

茨城県つくば市苅間2530番地2（研究学園D32街区2画地）

電話：029-883-1111（代）